

H16名古屋第2合同庁舎耐震改修工事ニュースNO. 7

○防災拠点としての機能を確保するために、B1階の柱頭に免震装置を組み込む中間階免震工法を用いて改修を行います。

平成17年12月 発行

12月の主な作業内容について

- ・南面・西面の基礎躯体工事を引き続き行います。
- ・北面の掘削・ドライエリアの壁の取りこわし・基礎躯体工事を行います。
- ・東面の掘削・基礎躯体工を行いません。
- ・B2階の躯体補強工事として引き続き各書庫、倉庫等の柱まわり壁を撤去後、柱・梁・壁の補強工事を行います。
- ・B1階の免震工事として躯体の解体、柱・梁の補強を引き続き行います。
- ・B1階免震装置取付け・煙突改修工事を行います。
- ・暖房時期は予定どおり年内に試運転を終了し、1月からとなります。

* 工事についての質問等は下記までご連絡下さい

中部地方整備局 営繕部
保全指導・監督室 細川 TEL 052 - 953 - 8196



B1F 免震工事 柱切断中

免震装置を柱に組み入れるため、柱をジャッキで支えてから柱を切断します。



杭工事東面 鉄筋 建込中

地震時に既存の杭が損傷しないように、建物周囲に新たに杭を設置します。



B1F免震工事 免震装置
(鉛プラグ入り積層ゴム) 取付

積層ゴムで建物を支えながら、免震層の横の動きに対応し、鉛プラグ入りのものは更に地震時のエネルギーを吸収することができます。



B1F免震工事 免震装置
(球体転がり支承)取付

ベアリングのような鉄の玉を並べた転がり支承が、建物を支えながら、免震層の横の動きに対応します。